

会議ダイジェスト

理 事 会

・第 6 回理事会

開催日：10 月 2 日

開催地：広島

出席者：森田会長，ほか 34 名。

1. 平成 4 年度予算編成
2. 会員団体組織規程改正
3. 学協会著作権協議会への本会著作権委託
4. 第 20 回石原・浅田研究助成金受領者決定
5. 第 17 回日向方学術振興交付金受領者決定
6. 表彰事業に外部助成金の受入れ，「里見賞」新設
7. 製鉄国際会議開催

編集委員会

・第 5 回編集委員会

開催日：10 月 25 日

出席者：佐野委員長，ほか 13 名。

1. 講演大会分科会の開催は年 2 回，分野幹事による幹事会は年 4 回の開催とすることが承認された。
2. 講演大会に English Session を設置する件につき，講演大会分科会で検討することとなった。
3. 「鉄と鋼」掲載論文 Synopsis を，必要に応じ料金著者負担で英文校閲に供することが承認された。
4. ISIJ 情報ネットワークの編集体制が和文会誌分科会案どおり承認された。内容は，特に WG を設置せず，7 社にモニターを依頼し意見収集を図る。各支部に読み物記事を担当依頼する。講義的記事の依頼を強化する等である。

・第 7 回和文会誌分科会

開催日：10 月 11 日

出席者：木原主査，ほか 11 名。

1. 10 件の論文審査報告がなされ，掲載決定 8 件，照会後掲載可 1 件，返却 1 件であった。
2. 「鉄と鋼」第 78 年第 1 号 (1 月号) に論文 18 件，技術報告 2 件掲載決定した。
3. 解説等 6 件の執筆依頼を決定した。
4. ISIJ 情報ネットワークの編集体制を

検討した。当面は分科会で編集を行うこととする。企業の広報担当の方へモニターを依頼し，内容，紙面レイアウト等，意見を聞きながら進める。

5. 平成 5 年度の特集号は「圧延における寸法制御と精度向上 (3 月号)」，「計測・制御 (仮題) (7 月号)」が承認された。現在，特集号は論文中心のものが多く，分野によっては啓蒙記事中心の企画も考えるよう提案された。

・第 7 回欧文会誌分科会

開催日：10 月 25 日

出席者：菊池主査，ほか 8 名。

1. 45 件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可 2 件，照会後掲載可 4 件，修正依頼 31 件，返却 8 件であった。

2. ISIJ International, Vol. 31 (1991), No. 12 及び Vol. 32 (1992), No. 1 の掲載原稿が承認された。

3. “Special Issue on Molten Slags and Fluxes”の具体的企画案が承認された。原稿投稿締切りは平成 4 年 5 月 20 日，発行は平成 5 年 1 月になる予定。

・第 2 回講演大会分科会幹事会

開催日：9 月 11 日

出席者：小野主査，ほか 9 名。

1. 第 123 回講演大会講演募集要項および申込用紙の見直しにより，要項は文字より絵を主体とし，さらに追加項目としてスライド・OHP シートの作成基準，データベースに関する内容を加えた。

2. 講演大会プログラム編成に対する委員会の取り組み方を検討した。

3. 講演原稿中の略記号の見直しと周知の仕方について検討した。

4. 第 124 回講演大会討論会テーマは平成 3 年 11 月 1 日の講演大会分科会にて決定する。

5. 講演申込大分類の変更により第 123 回講演大会より“7. 加工・利用技術”は“7. 加工・鋼構造”とする。

育成委員会

・第 2 回技術講座小委員会

開催日：10 月 18 日

出席者：徳永小委員長，ほか 10 名。

1. 西山記念技術講座

(1) 第 141・142 回，第 143・144 回の司会者の各社での割振分担を決定した。

(2) 第 145 回のテーマ，講師案が決定した。テーマ「鉄鋼業における耐火物技術の展望」

2. 白石記念講座

(1) 第 23 回のテーマ，講師案の検討をした。テーマ「資源リサイクルの現状と将来」

3. 今後の両講座のテーマ案を検討した。

鉄鋼技術情報センター

・第 3 回プロシーディングス小委員会

開催日：10 月 18 日

出席者：鈴木小委員長，ほか 12 名。

1. プロシーディングス収集方針について。
2. プロシーディングス広報 (含データベース) 方針について

基礎研究会

・第 7 回極低炭素鋼板研究部会

開催日：10 月 18 日

出席者：佐久間部会長，ほか 30 名。

1. 研究発表

(1) Ti 添加極低炭素鋼板における粒界破壊をとまう加工脆化

(2) 極低炭素冷延鋼板のスポット溶接疲労強度

(3) 極低炭素鋼板における Nb (C, N) の析出機構とそのモデル化

2. 極微量炭素定量共同実験結果

鉄鋼基礎共同研究会

・第 2 回循環性元素分離部会

開催日：10 月 22 日

開催地：トビー/第一技研 (豊橋)

出席者：佐野部会長，ほか 24 名。

1. 部会運営について

2. 研究発表

(1) 硫化物系フラックスによる溶鉄からのトランプエレメント除去に関する熱力学的基礎研究

(2) プラズマフレームによる溶鉄の脱銅・脱すずおよび硫酸塩による溶鉄の脱銅について

(3) 非鉄製錬から見た鉄スクラップの処理

(4) 固体鉄に対する溶銅の濡れ性の測定 (第 1 報)

3. 工場見学

トビー工業/豊橋製造所 大型シュレッダープラントおよび製鋼工場 (直流アーケ炉)